

浜の宮小学校だより 3月号(臨時号)

まつぼっくり

学校教育目標
 ところ豊かにたくましく 生きる力を育てる

めざす児童像
 ・はつきり話し、自ら学ぶ子
 ・まっすぐな心で、助け合う子
 ・こころも体も元気な子

皆様方のご協力により、「令和5年度 学校評価・学校関係者評価」を終えることができましたことを本紙面にてご報告申し上げます。この評価を生かして、次年度も本校教育活動の改善に取り組んでまいります。1年間、ありがとうございました。なお、本臨時号はホームページにも掲載されます。

令和5年度 学校評価・学校関係者評価（報告）

学校自己評価（達成状況）【5：とてもよくできた 4：よくできた 3：できた 2：あまりできなかった 1：できなかった】

1. 保護者アンケート集計及びご意見・ご提案から

評価の観点	評価項目（取組内容） ◎はR5最重要取組事項	評価	◎取組状況 ・ ◇改善の方策
「確かな学力」の確立	○学習習慣および知識・技能の定着による、学習意欲の向上促進 ○協同的探究学習を核とした授業改善の推進 ・思考力・判断力・表現力の育成 ・自己有用感の醸成 ◎知識・技能の定着、および協同的探究学習における ICT 活用に向けての研究・体制整備	4 4 4	4 ○協同的探究学習については一人一授業の研究を行うことで、教師の意識も高まってきている。モジュールや家庭学習を通じて漢字・計算に取り組むことで基礎学力の定着を図った。 ○国語科では、ICTを毎時間活用するような授業形態を工夫した。 ◇さらに研修を重ね「確かな学力」の育成に努めていきたい。知識や技能に関わることは、反復練習を大切に指導したい。
「豊かな心」の育成	◎「子ども同士の良好な関係づくり」に向けた、コミュニケーションを重視した児童の主体的取組の推進 ○教育活動全体に人権教育を取り入れることによる、「いのちと心」を大切に する人権感覚の向上促進 ○「特別の教科 道徳」の授業展開による、他者とともによりよく生きていくための基盤となる道徳性の育成	4 4 4	4 ○ペア活動を取り入れるなど、学年を越えた取組ができた。人権参観を行うなど、意識して人権感覚を磨く取組ができた。 ○道徳や特別活動など、様々なところで自分たちで話し合い、考える活動を取り入れた。 ◇委員会や係活動、校内ボランティアなどにおいて、進んで発言できるような活動を取り入れ、責任感を育てるとともに他者との協働の心を育てていきたい。
「健やかな体」の育成	○学習指導要領および児童の興味・関心を踏まえた、体力・運動能力向上に向けた指導計画の実施・改善 ◎健康・安全教育の推進による、感染症等への自身の危機管理に向け、主体的に判断・行動できる力の育成 ○食育・保健指導の組織的・計画的推進	4 4 4	4 ○最初からできないと決めつけて行おうとしない児童には、皆で繰り返し声をかけ学習意欲を高めさせ運動に取り組ませた。 ○保健の授業を活用して、健やかな体の育成について考えさせる機会を設けた。感染症・風邪予防のため、教室の換気や手洗いうがいの励行を呼び掛けている。 ◇外遊び後や体育後、手洗いうがいを徹底していきたい。
特別支援教育の充実	○インクルーシブ教育システムの理念に基づいた、相互理解のための交流活動・共同学習の充実 ◎適切な支援計画・指導計画の作成と、対応の共通理解 ○ユニバーサルデザインの授業づくり等に向けた研修による教員の専門性の向上 ○保護者および関係機関との連携を密にした支援・指導の充実	4 4 3 4	4 ○個々の特性を理解し、時には個別対応し、時にはみんなと一緒に頑張らせることで、一人ひとりが成長した。周囲の理解も得られるよう取り組んできた。 ○ハードルを上げすぎず、下げすぎず、努力を引き出す目標設定を心掛けた。 ◇保護者や医療機関との連携をさらに深め、学級全員に役立つ合理的配慮を考え、取り組んでいきたい。
児童生徒理解に基づく生徒指導	○基本的生活習慣と規範意識の醸成 ・挨拶 ・3つのそろえる（靴、トイレのスリッパ、机・いす） ・「だまピカ」清掃 ○安心して帰属できる学級づくり ◎子ども同士の良好な関係づくりに向けた、児童会・委員会活動を活用した主体的取組の実践 ○規範意識や思いやりの心を養うなど、「心の教育」の充実を目指した、自然学校や環境体験事業、ゲストティーチャー招聘等の体験活動の充実 ○児童の内面理解に基づく指導の充実と心のケア ・教育相談の充実 ・定期的なアンケートの実施 ・関係機関との積極的連携 ◎問題行動（いじめ問題等）の未然防止、早期発見・早期対応	4 4 4 4 4	4 ○挨拶、3つのそろえる、だまピカ清掃では、できている児童を褒め、クラス全員ができるように声掛けを行った。 ○教育相談では、一人ひとりの児童に寄り添い、困っていることはないか聞き取りを行った。また児童が相談してきた際には、解決するまで一緒に考えたり、様子を見守ったりした。 ○学期ごとに行われるアセスや教育相談なども活かし、子どもたちの声を聴く機会が設けられている。 ○問題行動の早期発見に心掛け、情報共有し、早期に対応するよう取り組んだ。 ◇児童に決まりを守らせるためには、まず教師全員の共通理解と実践が不可欠である。浜の宮小学校で決めていることや、小学生に教えていかなければならないことを繰り返し徹底して指導していきたい。 ◇日々の指導を児童理解を基本にして行い、指導方法を工夫し続けていかなければならないと感じる。表面上の理解に留まらないように指導していきたい。
質の高い学習環境づくり	○危機管理を踏まえた安全・安心な学習環境の整備 ○学校評価を生かした教育活動の定期的な見直しと改善 ◎「超スマート社会」に必要な学びの実現に向けた、ICT環境の整備	4 4 4	4 ○大型モニターやデジタル教科書、Wi-Fiなど、ICT環境の整備が進んだ。 ◇教員としての資質向上を図る時間を確保するために、情報の共有と業務（事務負担等）の軽減・分担する必要があると感じる
家庭・地域との連携	◎学校だより・学校ホームページによる、教育活動の積極的発信 ○学校運営協議会を基盤とした「協働」活動の実施 ○学校支援ボランティア等の、地域の教育力・教育資源の活用 ○「学校園連携ユニット」の取組の更なる充実	4 4 4 4	4 ○学年の様子を毎月数回ずつホームページにアップし、保護者等に学習内容や行事について発信することができている。 ○地域の方々がミシンボランティアとして家庭科授業に参加していただき、個々に応じた指導の充実が図れた。 ○ユニットでは、今年度から“届けよう服のチカラ”プロジェクトに参加し、児童会委員と生徒会役員が協力してボランティア活動に取り組むことができた。
教師力の向上	○全教職員の校内研修への積極的取組と、校内OJTを活用した教師力のスキルの伝承 ◎「協同的探究学習」「ICT活用による授業」に向けた研究推進体制の充実 ○業務改善に向けた組織的取組の推進による、子どもと向き合う時間の確保	4 4 4	4 ○職員同士が情報共有を積極的にし、「ICT活用による授業」においても教師力の全体的な底上げができている。 ○全校研究授業以外にも、他学年の先生方の授業を参観する機会を設定し、研修を深めることができた。 ◇業務内容の改善をさらに進めながら、教師間でお互いにフォローしあえる関係と子どもと向き合う時間の確保に努めたい。

2. 保護者アンケート集計及びご意見・ご提案から
 ※保護者の皆様から頂いた全てのご意見・ご提案を確認し、次年度の教育活動に活かせるよう検討させていただきます。ありがとうございました。
 ※学校評価および保護者・児童アンケート集計結果は、浜の宮小学校のホームページで公開しています。（加古川市教育委員会HP「加古川市の学校・幼稚園」～）

＜保護者アンケート集計から＞
設問①「喜んで学校に通っている」・・・82%（前年度84%）
設問④「思いやりがあり親切」・・・93%（前年度92%）
設問⑦「安全や健康に気をつけて」・・・93%（前年度93%）
設問⑨「学校と家庭との連携は図れている」・・・88%（前年度88%）
＜ご意見・ご提案から＞
・先生方の連携やPTA役員さんの活動も相まって、充実した行事が運営されている。親子共々楽しんでおります。また、成長を感じられる良い機会になっています。
・下校後の自転車の乗り方など、交通マナーをもう少ししっかり身につけてほしい。

3. 学校関係者評価（学校運営協議委員より）

学校自己評価に関する評価 及び 観点別の評価・意見等
「確かな学力」の確立について ・ICTを活用した授業については積極的に活用されているようだが、「書くこと」にも引き続き重点を置いて指導をお願いしたい。 ・学習の荷物が多くなり、ランドセルが重くなっているのが気になる。
「豊かな心」の育成について ・児童アンケートに「楽しく学校に来られていますか。」という内容を追加して保護者の思いと比較してはどうか。 ・道徳の授業や児童会活動を通して「いじめ防止」「人権」等について啓発されている。
「健やかな体」の育成について ・保健指導について、委員会活動などを利用して学校でもよく指導していただき感謝している。 ・手洗いうがいなどについて理由はわかっているが、実践できていないのが残念である。
特別支援教育の充実について ・特別支援学級の児童への様々な交流が実施されている。
児童生徒理解に基づく生徒指導について ・今後もトラブルが発生した場合は、迅速に対応して欲しい。 ・スクールカウンセラーのより有効的な活用ができればありがたい。
質の高い学習環境づくりについて ・今後のハード面のバージョンアップをお願いしたい。 ・各教室にWi-Fiが設置され、学習環境が整備されている。
家庭・地域との連携について ・学校行事への参加方法を工夫していただき、PTAとしても助かっている。 ・多様な学校支援ボランティアを取り入れて支援を強化してはどうか。
教職員の資質及び学校の組織力の向上について ・多忙な中、研修や授業改善に取り組まれている。今後も研修を深めスキルアップに努めてほしい。 ・業務改善の一環として、「スクリレ」を導入してはどうか。

※学校運営協議委員の皆様には、1年間、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。